

立民代表に泉氏

決選投票で逢坂氏破る

立憲民主党は三十日、代表選の投票の結果、泉健太政調会長(四七)を選出した。泉氏が一回目の投票で一位だったものの、過半数に達せず、二位の逢坂誠二元首相補佐官(六三)との決選投票を実施。泉氏が勝利した。任期は二〇二四年九月末まで。来年夏の参院選に向け、野党第一党の再生を急ぐ。共産党などとの野党共闘の在り方も課題となる。

泉氏は直ちに幹事長など党役員人事の検討に着手し新執行部を発足させる。岸田政権が十二月六日に召集する臨時国会や来年の通常国会で反転攻勢を目指す意向だ。



立憲民主党の新代表を選出する臨時党大会で演説する泉健太氏＝30日午後、東京都内のホテルで

泉氏は衆院京都3区選出で当選八回。旧民主党政権で内閣府政務官、旧希望の党と旧国民民主党の国対委員長、旧国民では政調会長を歴任した。